

音楽とは 横への感性なり!

合唱団ホームページアドレス

<https://www.wiengifu.org>

12月号

2021年12月1日

編集・発行

ウィーン岐阜合唱団

是非、大垣の練習にも

大垣 ソプラノ 高橋 由恵

合唱団にお世話になって10年余りになります。

仕事の都合上、木曜日の練習に参加することは難しく、金曜日大垣での練習に参加しています。皆さん大垣の練習会場ご存ですか？

会場は「大垣市南地区センター」。ランドマークとしては大垣市民病院の近くです。入り口横の広い階段を上った2階の講堂が練習会場です。

コロナ禍の今、ディスタンスを取ると30人程が精一杯の広さでしょうか。

この会場でソプラノ5名前後、アルト10名前後、男声5名前後の団員が集まります。練習前の和気あいあいとした雰囲気本当に「良い仲間たちだなあ」と毎回思います。

ところが、練習が始まると・・・空気感が変わります！

各パート人数が多くは無い一人一人の声が、音が、良くも悪くもよく“聞こえる”のです。歌っていて聞こえるのですから、指導して下さる先生方には当然、全部、聞こえているわけです。

発声練習の時も和子先生には誰がどんな声を出しているか、お分かりの事だと思います。

「やるべきことをきちんとやって下さい」「コツは〇〇です。」言葉の後に目が合います。私に向かっておっしゃってるんだ～と苦笑い。

平光先生との距離も近いですし「もっと優しく」とか「入るときは丁寧に」とか「マルカートに」とか 指示通りにできていないと 目が合います 再び苦笑い。

男声に至ってはパート一人ということも時々起こる状態です。こんな状態 「大変そう！」とか「いやだあ～」とか思いますか？違います！この状態はとても有難いことです。

練習の時は「今」出来なくても「今」間違っているても 直せばよいのですから。

どこが違うのか どう違うのか どうしたらよいのか、

指摘して見つけてもらえる事が大切です。自分では気づかないこと、仲間たちではわからないこと、直接先生に発見していただける、指摘していただける、これは小さい会場・少ない人数での練習の特権です。練習中に先生が団員の間を歩き、直接音を確認、聞いて下さる様な事は他の練習ではありえないと思います。

是非 大垣の練習にも参加してみてください。本番とはまた一味違う緊張感を味わえますよ。

来年6月に予定しています『第10回ヨーロッパ音楽・友好の旅』で鑑賞するオペラ「魔笛」と、オペレッタ「白馬亭にて」をエピソードも交えご紹介します。

1. ボイジャーに乗った ～オペラ「魔笛」～

1977年、アメリカ航空宇宙局（NASA）は惑星の探査を目的に、無人惑星探査機ボイジャーを打ち上げました。この探査機の特長は、異星人に向けたメッセージとして「ゴールデンレコード」を搭載していることです。

しかし、その中にモーツァルトのオペラ「魔笛」の《夜の女王のアリア》が入っていることはあまり知られていません。まさに異星人が聴いたら、その想像を絶する歌唱と、並外れた音楽性に驚嘆することでしょう。人類の遺産としてこれほどインパクトのある音楽は類を見ません。初冬の星空を眺めて、地球には素晴らしい音楽があることに改めて感謝する思いです。

■ オペラ「魔笛」について

「魔笛」は、35歳で夭折したモーツァルトの「最後のオペラ」です。1791年9月30日、モーツァルト自身の指揮によって初演されましたが、その年の12月5日にモーツァルトは亡くなりました。このオペラをこよなく愛していたモーツァルトは「もう一度、魔笛を聴きたい」と言って絶命しました。

【第1幕】

舞台は古代エジプト、「魔笛」は架空のファンタジー世界の物語です。王子タミーノは、女王の娘パミーナの絵を見せられ一目惚れします。女王（実は邪悪な夜の女王）は、悪人ザラストロに捕らえられた娘を救い出してくれたら、娘を王子に与えると約束しました。王子は侍女達から「魔法の笛」を受け取り、お供のパパゲーノと共にザラストロの神殿に行き、ついに対面します。実はザラストロは悪人ではなく偉大な祭司で、世界征服を企む「夜の女王」の野望の犠牲とならないようにパミーナを保護していたのでした。

【第2幕】

ザラストロはタミーノに、パミーナを得るための試練を与えます。ついでにパパゲーノも恋人を得るために試練を受けることになります。まずは「沈黙」の試練。沈黙するタミーノに、事情を知らないパミーナは深く悲しみますが、立派に耐え抜きます。次の「火」の試練、「水」の試練は、タミーノとパミーナの二人で「魔法の笛」の力を借りて乗り越えました。

邪悪な夜の女王も黙っていません。侍女達とともに、自らザラストロの神殿に侵入して、娘パミーナに短剣を渡し、「この短剣でザラストロを殺しなさい。」と命じます。この時歌われるのが有名な『夜の女王のアリア』です。しかし野望はかなわず、雷鳴とともに夜の女王もついに闇夜に落ちていくのでした。

ザラストロは試練に打ち勝ったタミーノ、パミーナたちを祝福して、太陽神の子オリシスとイシスを讃え終幕します。

オペラ「魔笛」を乗せたボイジャーは、今も宇宙空間を飛び続けています。

2. 上質な大人のラブコメディ ～オペレッタ「白馬亭にて」～

■ オペレッタ「白馬亭にて」とは

このオペレッタは、オーストリアのラルフ・ベナツキー（1884-1957）とロベルト・シュトルツ（1880-1975）の共作です。1930年11月8日にベルリンで初演されて以来、ロンドン（600回上演）、パリ（4年間上演）、ニューヨーク（昼夜2回公演で300万人動員）などの世界中の劇場で絶大な人気を博しました。2003年には日本（新国立劇場）でも上演され、2013年には映画化されています。

ストーリーは「白馬亭」という避暑地のザンクト・ヴォルフガング湖の湖畔のホテル（実在するホテル）を舞台に、ホテルの女主人ヨーゼファートと、給仕長のレオポルトの恋愛模様を中心に、登場人物がそれぞれがかなわぬ恋の相手を追い求め、陽気な物語が展開します。現代感覚の上質な「大人のラブコメディ」といったところでしょうか。

音楽の楽しさもさることながら、芝居としても非常に良く出来ていて、ドイツ語圏では最も上演回数が多い作品とされています。音楽はヨハン・シュトラウスのようなクラシック派ではなく、どちらかというともミュージカルに近い親しみやすい作品です。日本ではあまり馴染みがありませんが、一度聴いたら忘れられない曲が満載です。（永竹由幸著「オペレッタ名曲百科」より一部転記）

■ エピソード1 ウィーン岐阜は、その昔「白馬亭」に泊まっていた！

ヴォルフガング湖に面して建つ教会のすぐ横にあるのが、有名なホテル「白馬亭」です。

この街は映画「サウンド・オブ・ミュージック」に登場するシャフベルク鉄道の乗り場もあることで知られています。ウィーン岐阜合唱団は2012年「第6回ヨーロッパ音楽友好の旅」で、この由緒あるホテルに泊まっていました。又、来年のツアーでも白馬亭内の素敵なレストランでランチの予定をしています。

■ エピソード2 「白馬亭にて」のDVDが奇跡的に手に入った！

このオペレッタのDVDは廃盤になっており、現在は入手困難でしたが、奇跡的に中古品が見つかり手に入る事になりました。しかも日本語字幕版です。今更ながら平光先生の神通力に驚くばかりです。

（R.KATO 記）

*DVDご覧になりたい方は、ウィーン岐阜合唱団まで申し出ください

12月～2月 練習予定

練習時間は 18:30～20:30 です (少し前までに集合しましょう)

☆ 練習時間・体制等は、変更になることもありますので、ご注意・ご了承ください。

月日	岐 阜	月日	大 垣
12月2日(木)	長森コミュニティーセンター	12月3日(金)	大垣市南地区センター
12月9日(木)	〃	12月10日(金)	〃
12月16日(木)	〃	12月17日(金)	〃
12月23日(木)	〃	12月24日(金)	〃
1月6日(木)	〃	1月7日(金)	〃
1月13日(木)	〃	1月14日(金)	〃
1月16日(日)	岐阜・大垣合同練習 長森コミュニティーセンター 13:30～16:30		
1月20日(木)	長森コミュニティーセンター	1月21日(金)	大垣市南地区センター
1月23日(日)	ヴァイオリンとチェロと共に合同練習 北部コミュニティーセンター 13:30～16:30		
1月27日(木)	New Year "希望の光" コンサート 岐阜清流文化プラザ 開演 18:30～ 開場 18:00～		
2月10日(木)	長森コミュニティーセンター	2月11日(金)	大垣市南地区センター
2月17日(木)	〃	2月18日(金)	〃
2月24日(木)	〃	2月25日(金)	〃

心の四季

作曲者による演奏上の注意

『雪の日に』

…省略…日本の中部、西部、南部では、雪は《祝福》として降る。即ち、あたりをうっすら雪化粧して、すぐ消える雪である。しかし、東北地方の雪は、抑えきれない人間の精神のように、激しくいつまでもいつまでも降り続ける、という意味の事をいった。

この曲の中に持続される *f* は、その *f* なのである。

『真昼の星』

…省略…前曲の余韻のように。静かな曲。「かがやきを」の後、最後の一連は、本当に *pp* の中で歌われるように。そして、その静けさの中に曲をとじるのである。第9～11小節の16分音符が並ぶあたりでは、言葉が聞きとれるよう、ていねいに。

(カワイ出版 第103刷発行より)